

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんべつ



中春別振興会「秋の収穫祭」が、10月10日(休)に秋空のもと開催されました。農事組合対抗「靴飛ばし」、「野菜争奪乳量日本一」、「玉ねぎ拾いリレー」などが行われ、たくさんの方々の笑顔で交流を楽しみました。



11月号

2019 Vol. 502



農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会代表理事会長

飛田 稔 章

本年9月30日、本会は平成27年の農協法改正に伴い法律上の位置付けを連合会に移行しましたが、名称は変更されず、事業としても会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されているため、今後も引き続き、中央会が果たすべき基本的な機能であるJAグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートして参りますので引き続きご支援、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

さて、昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で72年を迎えました。戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

総合事業を展開しながら安全・安心な農畜産物の生産と、豊かな生活に役立つ購買品の供給、地域の豊かな暮らしと経済活動のために寄与す

る信用事業、総合的な暮らしの保障のための経済事業、健康な日常生活を営むための医療・福祉事業のほか、環境問題や子供の貧困問題などへの取り組み等、地域社会に貢献するための様々な社会的取り組みも行なわれております。

また、昨年の北海道胆振東部地震のように大規模災害が発生した際には、組合員・JA・連合会等の間における農業機械・発電機等の融通や、被災地への人的・物的支援、被災地農産物の選果受人、協同組合間による募金活動など、組織内・外を問わない助け合いの精神による支援活動・行動によって、被災地域の復旧・復興支援に大きな役割を果たしているところです。

このように協同組合は社会と地域の人々の暮らしのために、永年に亘って多くの分野でその役割を發揮してきています。

そのような中、「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録され、更に昨年4月には、我が国の農協、漁協、生協、労働金庫、森林組合等の協同組合が、協同組合間の連携によって力を結集し、地域課題の解決を目的として日本協同組合連携機構（JCA）が発足したところとす。

昨年開催した第29回JA北海道大会では、前回大会で設定した将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」を継承し、「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」と「次代につなげる協同組合の価値と実践」に向けて、JAグループが一体となって取り組むこととしております。

JAに集う組合員、役職員の皆様は、競争ではなく共生の社会を創り出す社会システムのひとつとして世界的に評価され、その価値と役割を高め始めている協同組合の仲間であることを誇りとしながら、対話運動の実践を通じて、信頼と絆を土台にした新たな協同組合の価値創造と、食と農でつながるサポーター550万人づくりによって、協同活動の輪を広げて頂きたいと考えております。

このことが新自由主義経済への対立軸としての協同組合の存在意義を高め、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに地域社会の基盤をさらに発展させ、持続可能な農業と地域社会へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることを誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

実りの秋、食欲の秋！
 お買い得商品が満載！



Aコープ中春別前駐車場にて10月17日(木)、18日(金)の2日間にかけて、Aコープ秋の収穫祭が行われました。

当日の会場には、店舗の出展だけではなく、屋台や冬に向けて準備が必要なスタットレスタイヤ、防寒服品やストーブなどたくさんの特典が並びました。毎年恒例のみかん、じゃがいもは1回500円つめ放題は大人気で、楽しそうにバランス良く、

みかんやじゃがいもを積み上げていました。
 17日(木)は当日限定で、青年部と女



性部が出店しました。

青年部は、「牛ロース」の無料試食会を行い、他にも「牛ヒレ」「ハンバーグ」の販売を行いました。香ばしい匂いが会場を包みこみ、多くの人買い求めました。

女性部は別海牛乳と、野菜たっぷりの「ミルク豚汁」と温かい「コーヒー牛乳」の配布が行われました。当日はとも風が強く、豚汁とコーヒー牛乳で思わず「あつ



たまる〜」という声も聞かえてきました。他にも別海牛乳を使った商品や、手作りのパウンドケーキやクッキーも販売しました。
 今年も笑顔があふれる秋の収穫祭となりました。



青年部の活動をピックアップ

ロールパックメッセージを製作

青年部消費拡大事業の一つロールパックメッセージの作成を10月1日(火)に行い、沢山の参加者が協力のもと完成しました。
標語の作成は中春別小学校、中学校の皆さんにご協力いただき、次のように決まりました。

牛乳飲んだらモー！ハッピー！
牛乳はみんなの笑顔を作り出す

中春別小学校6年生 小守なずなさん
中春別中学校2年生 高橋 空さん

ロールの数は過去最高の80個を使い、迫力あるメッセージが仕上がりました。

場全酪連育成センター前(道路横右手)にて展示しておりますので、移動の際はご覧になってください。

色塗り作業には、学校法人工藤学園(札幌市)の学生6人と未来牧場より研修生の方に、青年部との交流を兼ねて参加いただきました。今後とも管外や地域の方々と交流を図ればと思います。
作品は(株)なかしゅんべつ未来牧



青年部ロールパック メッセージ標語入賞者を表彰



青年部では、4月から5月にかけて募集しましたロールパックメッセージ標語入賞者の表彰式を、10月28日(月)中春別小学校と中春別中学校にて、最優秀賞2人、優秀賞5人にそれぞれ行いました。
最優秀賞

「牛乳飲んだらモー！ハッピー！」

中春別小学校6年 小守なずな

「牛乳はみんなの笑顔を作り出す」

中春別中学校2年 高橋 空

優秀賞

「みんなの牛にゆう みんなでのめば パワーアップ！」

中春別小学校3年 牧野ゆめか

「別海町は牛乳の町 さあ今から牛乳生活！」

中春別小学校5年 川西亜胡

「牛乳飲んで未来をかえよう」

中春別小学校5年 高橋和花

「なまらうまい日本一の牛乳で大きくならう！」

中春別小学校6年 鎌田侑寿紀

「牛乳は牛からのおくりもの！おいしいのもー！」

中春別中学校3年 馬場千春

入賞者には、山田部長と相澤副部長より賞状と図書カードが贈呈されました。最優秀賞の作品はなかしゅんべつ未来牧場全酪連育成センターにて展示中です。沢山のご協力ありがとうございました。

青年部道内視察研修会

実りある視察研修、今後の酪農経営へ

青年部では10月2日(水)〜4日(金)にかけて、部員8人参加のもと、視察研修会を実施しました。

高性能な海外製トラクター
とこだわりある経営

例年、部員間の知識向上と親睦を図ることを目的に開催しており、1日目は、北見市にある、(株)中沢機械店へ視察に行き、中沢社長案内のもと、会社概要や敷地内の見学・トラクターの試乗をさせていただきました。



フェントやバルトラ、クラーズといった海外ブランドを扱っており、新品のトラクター販売はもちろんだが、中古トラクターの販売にも力を入れているとのこと。きっかけとしては、お客さんからの要望により応えたいという思いから、尽力をするようになったと話されておりました。

最新鋭の機械を視察

2日目は、千歳市のオリオン機械(株)千歳工場と、江別市の池田牧場へ視察に行きました。

オリオン機械(株)では、トレーニングセンターにて、搾乳ロボットやその他製品の説明をいただき、新設された第2工場の見学を行いました。

トレーニングセンターでは、搾乳ロボットMION



eや、バルククーラー、自動給餌機、キャリロボなどの最新鋭の機械が展示されており、デモとして操作体験も可能であることから、機械を稼働させながらの細かな説明や他社と比べた時の違いなどがわかりました。

また、今年春より製品の増産へ向けて開設した第2工場も見せていただき、工場では主に、バルククー



ラーや自動給餌機、ミルカーなどの製品制作を行っていました。

池田牧場の各取り組みを視察

池田牧場は、昭和60年に設立。現在では飼養頭数が約420頭(預託を含む)。平成11年には経営の効率化を目的に育成牛は預託をし、搾乳に専念。また、ロータリーパーラー(4頭ダブル)とFS牛舎(250頭)を建設。平成29年には、クラースター事業で搾乳ロボットMIONE(3BOX)とFS牛舎(130頭)、バ育成牛舎(150頭)、バイオガスプラントを建設、



FSフィーダー(敷料用)、餌寄せロボットを導入。経営体の特徴的な点としては、経産牛のうち130頭はロボット、150頭はロータリーパーラーで搾乳。乳牛に合わせて使い分けているとのことでした。視察中は懇親会も開催しており、おいしい焼肉に舌鼓をうちながら親睦を図り、とても賑やかな懇親会となりました。3日間の視察を通じて得たことを活かして、これからの営農や青年部活動に努めていきたいと思えます。

ムダなく美味しい野菜の調理方法と冷凍保存方法を学びました

第47回別海町酪農女性のつどいが10月8日(火)に行われました。

今回のテーマは、「おいしくムダなく野菜の冷凍保存 作ってみよう！簡単乳和食」です。
始めに「ジャガイモの種類と調理法」について、次に「野菜の上手な冷凍保存方法」では、美味しさを保つために、適切な切り方や処理について学びました。



最後に「乳和食」という味噌や醤油などの調味料に牛乳を組み合わせることで、食材本来の風味や特徴を損なわずに、食塩やだしを減らしておいしく和食を食べるとい

う調理方法が紹介されました。実際にその調理方法で作った減塩みそ汁と、鯉節と醤油を加えたカツテージチーズを試食しました。会場では「知らなかった」「試してみようかしら」という声も聞こえてきました。

展示では、カルトナージュ、エコクラフトを出展し、作品前にはたくさんの方が集まりました。



助け合い、支え合い、知恵を出し合い活動

ワイワイ楽しみながらパン作り

フレッシュミセス部会では、別海町農村加工施設にて10月1日(火)パン作りを行いました。

おしゃべりをして、ワイワイ楽しみながら生地を丸めたり、のぼしてクリームやブルーベリーなどの具を入れたり、たくさんの方々の種類のパンを作りました。

パン作りをしながら楽しい時間を過ごし情報交換の場となりました。



た。
今年にはハンバーグパンやバターシユガーパンなど、新しい種類のパンにも挑戦しました。ふっくら焼きあがったたくさんのお土産は、お土産に持ち帰り、心もおなかも大満足になりそうなおパン作りでした。



女性部 Young Women's Division

木の実部会
笑いヨガ

わずかな時間で心も体も健康に

中春別ふれあいセンターで10月4日(金)に笑いヨガを行いました。

講師の戸田さんに、日常生活での簡単な笑いヨガの活用方法を教えていただきました。
難しいポーズをとるわけではなく、座りながらでもできるため、大人から子供

ヨガは、10分間のジョギングと同じ有酸素運動量になるとも言われています。身体的効果はもちろん、心理的効果も期待され、とても好評でした。



まで楽しみながらできる笑いヨガ。1分間の笑い



女性部の活動をピックアップ

野付半島の風景を満喫

木の実部会・
園芸グループ合同視察研修

木の実部会と園芸グループの合同視察研修が10月9日(水)に行われました。

野付半島ネイチャーセンターに到着し、トラクターバスに乗り込みトドワラへ向かいました。
野付半島のガイドをしていた
大きなながら、今時期しか見られない赤く色づきはじめたアツケ

を学び、年々姿を変える景色を楽しみました。



シソウが絨氈のように広がり、また、立ち枯れた木々が幻想的なトドワラを見られるスポットを案内していただきました。
野付半島の自然や、その歴史





各チーム一致団結し、 競技に熱戦を繰り広げる

中春別酪農振興会(村山英司会長)は、農協裏グラウンドで10月10日(木)秋の収穫祭を行いました。

開始時間が近づくと、会員の皆さんが集まり、「今年
は天気に恵まれて良かった
ね」と開催を喜び、豪華景品
をかけた農
事組合対抗
3種目競技
が行われま
した。

最初の競
技は、靴を
円の中心目
指して飛ば
す「靴飛ば
し」。円の中
心に飛ばし

た方には歓声が沸き、大き
く外れると笑いが飛び交い
ました。続いて行われた「野
菜争奪乳量日本一」では、パ
ケツからコップに汲んだ白
い水を10m先の1升ビンに
満タンになるまでリレーで
競技をし、額に汗を滲ませ



ていました。

最後に拾った玉ねぎの重



さを競う「玉ねぎ拾いリ
レー」が行われ、競技の終盤
にさしかかる頃には息が切
れ、疲労困憊の様子でした
が、皆さん玉ねぎ獲得に笑
顔が溢れていました。
最後は競技の順位ごとに
豪華景品を仲間と分け合
い、焼肉を囲み懇親を図り
ました。



理想的な酪農経営に終始釘付けと なりました

豊原酪農振興会視察研修会

豊原酪農振興会(中村貞志会長)では、10月8日(火)に浜中町の村越牧場(村越敏春)へ27人参加のもと視察研修を行いました。

村越牧場では平成17年に町内初となる搾乳ロボットを導入を行い、省力化と労働生産性に優れた経営を構築しており、総頭数160頭(内搾乳ロボット60頭、アブレスト16頭)規模で経営している酪農家であり、搾乳ロボットを導入しても乳量増加

を求めずに自給飼料割合の高い経営を維持しているとのことでした。また、搾乳牛が自ら搾乳ロボットに



入ることが効率的な稼働に重要と考え、搾乳牛の足腰の健康維持のため放牧を重視しているとのことでした。牧草収穫についても、外部委託しており省力化を念頭に置いた酪農経営をしておりました。

搾乳ロボットを活用し、ゆとりある酪農経営をしている村越牧場の経営に「理想的な酪農」と会員の皆も釘付けとなり、終始質問を自身への経営のヒントを得ることのできた有意義な視察研修となりました。



知識向上に繋がる有意義な視察

中春別酪農振興会視察研修会

中春別酪農振興会(村山英司会長)では、会員の知識向上を目的とした視察研修を10月16日(水)に会員9人参加の中行いました。



平成30年度にクラスター関連事業を活用し、FS牛舎、搾乳ロボット2台を導入した(株)サニープレイスを視察しました。

(株)サニープレイスではテラバル(株)の搾乳ロボットを2基、また、最先端システムのハードナビゲーターを導入し、乳汁の分析データにより早期疾病発見及び繁殖管理なども行っています。



代表取締役の小湊剛史さんに案内され牛舎をまわり、非常にきれいで整理された牛舎内で牛もゆつたりしており、会員から「可能であれば、自分も導入してみたい」などの声も上がり、知識向上に繋がる有意義な視察となりました。

視察後、昼食をとりつつ仕事や家族の話題に盛り上がりました。

品質に応じた初乳給与

寒さが厳しくなり、人間も子牛も風邪を引きやすい季節ですね。免疫力の強い子牛を育てるために、初乳管理のおさらいをしましょう！特に預託の場合は、複

数の農場から子牛が集まるため、自分の農場では経験のない疾病に罹る可能性があります。初乳により多くの抗体を付与してから預けることが重要です。

糖度計を活用した初乳中の抗体濃度の判定

子牛が摂取できる抗体の量は**初乳中の抗体濃度 × 飲んだ初乳の量**で決まります。飲む量には個体差があるため、なるべく抗体濃度の高い初乳を給与し、多くの免疫を獲得させましょう。

初乳の抗体含量は初乳糖度と比例しています。糖度の高い初乳は冷凍保存しておくとし、初乳の糖度が極端に低い場合（母牛の体調不良や漏乳があった時）や乳房炎、血乳のときに代用できるので便利です。

糖度計

初乳の糖度は糖度計で測定可能です。値は農場、個体によって差がありますが、良質な初乳の判断目安は糖度（Brix値）22%以上です。



初乳の給与判断

免疫の特性は飼養環境や管理によって変化し、初乳を介して親から子へ受け継がれます。初乳は可能な限り親や農場内の牛のものを活用しましょう。近年は

栄養素と抗体を含む初乳製剤や、抗体のみ補給する初乳サプリメントなどが販売されています。初乳品質に合わせて効果的に活用しましょう。

初乳品質の確認

血乳または乳房炎に罹っている？

Yes: 初乳使えない

凍結初乳や初乳製剤を活用しましょう

No: 初乳使える

初乳の糖度が22%以上あるか？

22%未満

抗体濃度が不十分と判断

初乳と合わせて以下のものを活用し、抗体濃度を高めましょう。

- ① 凍結初乳（糖度（Brix値）22%以上）
- ② 初乳製剤（栄養と抗体を含む）
- ③ 初乳サプリメント（抗体のみ含む）

22%以上

抗体濃度が高いと判断

初乳のみ給与

注意1 初乳と初乳製剤を混ぜるとき

初乳製剤を活用する際は、規定量のお湯で溶かしてから、初乳と混ぜましょう。初乳に初乳製剤の粉末を混ぜると、脂肪の濃度が高すぎて消化不良による下痢になる場合があります。

注意2 凍結初乳を溶かすとき

抗体（＝タンパク質）は熱で変性してしまいます。凍結初乳を溶かす際は45℃未満で湯せんしましょう。



中春別乳牛改良同志会では更なる酪農経営の発展を目指し、次世代を担う青年部とともに10月9日、中標津町開陽の「(株)RARA Farm中標津」にて令和元年度地区外視察講習会を参加者19人で開催しました。

更なる飼養管理技術向上を目指し

「(株)RARA Farm中標津」はJA中標津が立ち上げた農協出資型大規模牧場です。哺乳から搾乳まで一貫して飼養し、最大で経産牛448頭を飼養できるフリーストール牛舎を保有し

ています。特に搾乳に関しては、パラレルパーラーと搾乳ロボット併用で、目標生乳出荷量は4000tを目指しているそうです。さらに担い手・新規就農希望の研修生を受け入れ、教育・研修訓練を実施しています。

が設置され、バイオセキュリティが徹底されています。また、パーラー室では多数の従業員が作業をしているため、マニュアルや注意点が壁に張り出されており、従業員内の「見える化」が進められている印象を受けました。

フリーストール牛舎内

牧場内は各畜舎に必ず踏み込み消毒槽

先進的な哺乳舎から搾乳舎にかけて当牧場専務の渡部氏より各ステージごとの飼養管理などを説明して頂きました。参加者

からも様々な意見、質問が出て有意義な講習会となったと思います。

最後に今回の開催にあたり「(株)RARA Farm中標津」の皆様にご多忙中、講習会を引き受けてくださり、御礼申し上げます。



同志会・青年部合わせて19人が参加しました



▲参加者より多くの質問が出ました

全道の舞台で熱き 戦いが繰り広げられる

勇払郡安平町早来の北海道ホルスタイン共進会場にて
第17回北海道総合畜産共進会が9月28日(土)〜29日(日)、開
催されました。

総出品頭数は370頭

されました。

(ジャージー種を除く)で、

オフィシャル・ジャッジ
には北海道ホルスタイン農



業協同組
合、審査部
次長の田井
道広氏、ア
ソシエー
ト・ジャッ
ジには北海
道ホルスタ

イン農業協同組合、参事の
千葉義博氏が務められまし
た。

当農協からは6戸10頭が
全道の舞台へ挑み、第2部
未経産カーフクラスに山田
侑甫さん出品の「YMD
アシユリン DMブロー
アレトウーサ ET」が2
等1席、第9部ジュニア2
歳クラスに寺澤佳吾さん出
品の「プロミネンス アシ
ユリン エンジエル ユ
ヒーナ ET」が2等2席
を獲得されました。また、根
室管内全体でもコンディ
ションを整え堂々と大舞台
に挑んだ結果、2等賞以上
の入賞率は54・5%、当農
協では60・0%の活躍をみ



せました。
グランド・
チャンピオン
には第14部4
歳クラス、大樹
町の(株)エンブ
レムークが出
品された「エン
ブレムK ス
パークリング
シエリー」が
輝き、とても正
確なフレーム

を持ち、田井氏からは「また
来年も見たい」と評されて
いました。リザーブ・グラ
ンド・チャンピオンには第
12部ジュニア3歳クラス、
上士幌町の小椋淳一さんが
出品された「ハイロード
ソロモン チエイサー」が
選ばれ、乳房の幅や高さ、質
感はとて良く見えました。

本共進会において、出品
牛の父牛には未経産牛で
「ドアマン」、経産牛では「ソ
ロモン」や「ゴールドチツ
プ」が目立っていました。当
農協でも使用していた種雄
牛の精液であり、ソロモン
やドアマンの娘牛たちは乳
器を付け始めている頃なの

で、今後の活躍に期待した
と思います。
今年の共進会シーズンも
終えましたが、来年には第
15回全日本ホルスタイン共
進会を控え「今年活躍した
牛が来年も制するののか?」、
「1年後に期待できる牛は
どれなのか」など話題は尽
きません。中春別ホルスタ
インがショウで活躍し、良
い成績を残せるよう心から
お祈り申し上げます。



第17回北海道総合畜産共進会

第17回 北海道総合畜産共進会結果

開催日 令和元年9月28日(土)~29日(日)

オフィシャル・ジャッジ：田井道広氏(北海道ホルスタイン農業協同組合審査部次長)

アソシエート・ジャッジ：千葉義博氏(北海道ホルスタイン農業協同組合参事)

部	成績	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
2	2等賞1席	YMD アシユリン DMブロー アレトウーサ ET		H30.10.23	ミスター アツトウツド ブロカウ ET	山田 侑甫
2	2等賞8席	プレザント マリールンド アンズ ガール		H30.10.02	ウオールナツトローン ソロモン ET	中西 裕哉
2	3等賞	プロミネンス ドアマン ロケット ET		H30.10.25	ハルビツソンドアマン ET	寺澤 佳吾
6	2等賞4席	YMD ロクセツト GC クラツシユ ヒナ		H30.03.03	マーベリック クラツシユ	山田 侑甫
9	2等賞2席	プロミネンス アシユリン エンジェル ユヒーナ ET		H29.06.10	ミスター アツトウツド ブロカウ ET	寺澤 佳吾
9	2等賞4席	プロミネンス プレリユード ブローミス		H29.06.22	ミスター アツトウツド ブロカウ ET	寺澤 佳吾
9	3等賞	フロートリバー アグネス キヤピタル リアン		H29.07.02	スタントンズ キヤピタル ゲイン ET	浮川 優
14	3等賞	プレステージ シド エリー ET		H27.09.22	ハイツリー シド ET	久保 光大
15	3等賞	ライプリー K アツトウツド リリー		H26.07.19	メーブルダウンスアイ GWアツトウツド ET	山田 光男
16	2等賞6席	プレステージ ラスト チョイス ET		H25.04.14	ゴールデンオークス STアレキサンダー ET	久保 光大

第17回北海道総合畜産共進会チャンピオン牛

	出品番号	名	号	生年月日	父牛名号	出品者
グランド・チャンピオン シニア・チャンピオン	1430	エンブレムK スパークリング シエリー		H26.12.31	ジレット ティーウエーブスパークリング ET	大樹町 (株)エンブレム-K
リザーブ・グランド・チャンピオン インターミディエイト・チャンピオン	1202	ハイロード ソロモン チエイサー		H28.09.09	ウオールナツトローン ソロモン ET	上士幌町 小 椋 淳 一
ジュニア・チャンピオン	601	アサ レーザービーム パート		H30.03.25	ティウエーブ レーザービーム ET	上士幌町 小 椋 直 樹
リザーブ・ ジュニア・チャンピオン	402	セジス ビューティ アルティ チェンス マウイ ET		H30.07.23	デスー BKM マツカチエン 1174 ET	清水町 高 橋 喜 一
リザーブ・インターミディエイト・ チャンピオン	1216	エリー バリエント エンジェル チヤン		H28.06.02	デスー BKM マツカチエン 1174 ET	訓子府町 森 岡 和 弘
リザーブ・シニア・チャンピオン	1620	エツセンス ゴールド アポロ エル ダーハム ET		H23.04.03	プレイテール ゴールドウイン	豊富町 栗 城 一 貴

管内成績 出品頭数55頭

区分	入賞頭数	入賞率
1等賞	7	12.7%
2等賞	23	41.8%
合計	30	54.5%

当農協 出品頭数10頭

区分	入賞頭数	入賞率
1等賞	0	0%
2等賞	0	60.0%
合計	6	60.0%



久々のプレーに声をかけ合い、交流を深めました

中春別農協年金友の会秋季スポーツ交流会

中春別農協年金友の会(高橋昌晴会長)では、9月26日(休)豊原にて、会員20人参加のもと、秋季スポーツ交流会としてパークゴルフを行いました。

この日は快晴で秋風が心地良く、パークゴルフ日和となりました。会員から競技前に「今年パークゴルフは数回しかやっていない」との声が聞こえ、久々の競技とあつて皆さん和気あいあいとした雰囲気でした。

競技を開始すると、真剣にプレーする中にも難易度の高いコースはアト！とかけ声を出し交流を深めま



した。

今回のルールは男女でペアを組み、合計打数で競いました。熱戦の結果、中村与之進さん・南澤明子さんペアが優勝されました。

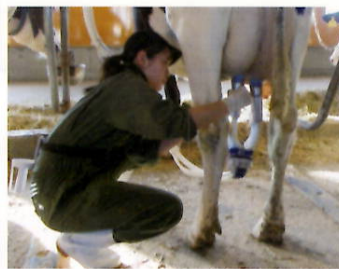
今回、豊原でパークゴルフを行うにあたり、前日にコース整備をしていただきました豊原パークゴルフクラブ関係者の皆様、誠にありがとうございました。今年度最後の行事は、11月26日(火)に開催しますお楽しみ会となります。会員同士声をかけをして、少しでも多くの参加をお待ちしております。



実習を体験し将来の選択肢のひとつに

日本獣医生命科学大学夏期酪農実習

8月1日から9月18日にかけて4班に分かれ、日本獣医生命科学大学の学生7人が、それぞれ10日間の日程で、なかしゅんべつ未来牧場酪農研修センターで、夏期休業中の酪農実習に励みました。



この実習は、同大学と北海道チクレン農協連との産学連携協定の一環として行われ、学生の単位取得及びインターシップの実施農場として昨年より実施されています。

学生の中には酪農現場が初めてという1年生や、学生時代に授精師資格を取得し、JA職員として

就職の後、新規就農を目指す3年生もおり、慣れない手つきながらも職員・研修生の指導により、哺育育成、搾乳作業など一連作業の体験と、人工授精、獣医治療、繁殖検診などを立会しました。

座学では、女性獣医師による「酪農女子の重要性」と題した講義を受講し、酪農現場での多様な働き方を学びました。

学生からは今回の実習を通し、「将来自分は何をしたいのか考えるきっかけとなった」、「実習を経験し将来の選択肢が増えた」などの感想をいただき、学生たちが卒業後、就農就業を含め、何らかの酪農関連業種への就職を目指してほしいと願っています。

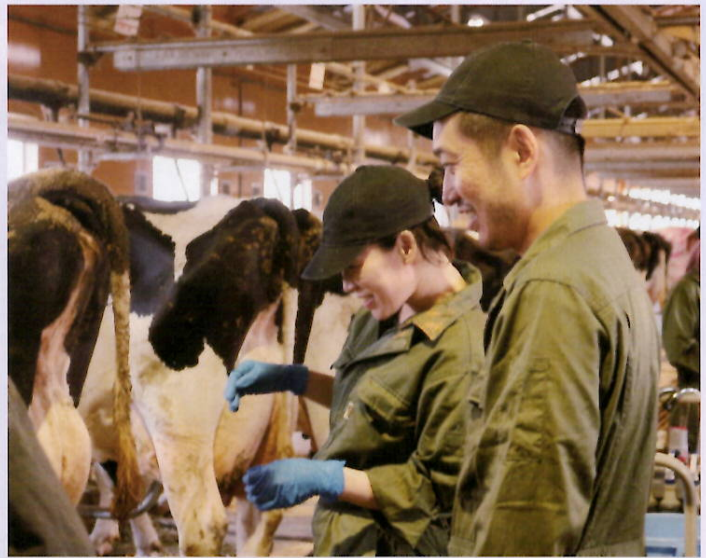


初めてだらけで大変でしたが、酪農を堪能しました

9月30日(月)から10月4日(火)の5日間にかけて、学校法人工藤学園愛犬美容看護専門学校(札幌市)の学生が、(株)なかしゅんべつ未来牧場での酪農研修を行いました。

6人の学生が4泊5日の行程で酪農研修を行い、5日間の実習を通じて酪農の基礎知識についての座学研

の哺乳作業、牛舎清掃、搾乳体験や酪農ヘルパー職員に同行し実際の現場を体験しました。
初日は、懇親を深めるた

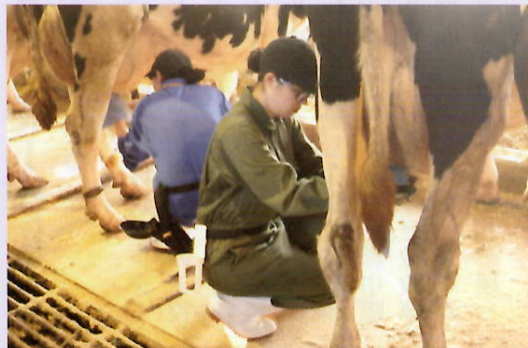


めに学生と未来牧場研修生を含めた中で焼肉を行い、和気あいあいとした中で食事を楽しみました。
翌日より朝晩の酪農研修が始まり、普段触れることのない牛に恐る恐る近づき作業を行っておりましたが、日を追うごとに牛にも慣れていき、作業を楽しんでいる姿が見



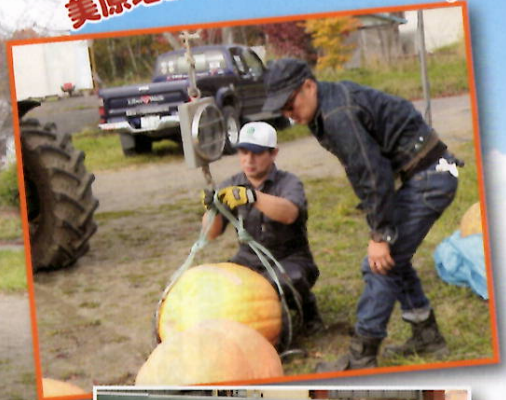
受けられました。作業の合間の時間では、青年部事業活動の一環「ロールバックメッセージ」の作成を体験し、地元青年部員との交流を図りお互い情報交換をしました。
また、近隣での視察を実施し、別海バイオガス発電

(株)での施設見学、(株)トータルハードカーフサービスでの育成管理について、搾乳ロボットを活用している農家視察や獣医師による「酪農畜産現場における動物看護師の役割」をテーマとし



た講義を行い、学生たちも興味津々に聞いていました。
普段の生活リズムと違い、心身ともに大変な酪農研修になったと思いますが、疲れを見せず笑顔で作業している姿が見受けられました。
研修を通じて、普段体験できない作業や講義など酪農に関する知識が深まったと同時に酪農の魅力、地域の魅力に触れることができました5日間だったのではないかと思います。今回の経験が皆様の一助となればと思います。参加された皆様大変お疲れ様でした。

美原地区かぼちゃの品評会



内山 67kg	高野 50kg	関矢 44kg
工藤 38kg	山口 41kg	熊谷 50kg
島山 40kg	原田 49kg	夏目 41kg
熊谷 48kg	山口 45kg	

手塩にかけて育てた大きなかぼちゃたち

秋晴れの下、美原ゆうゆうホール前にて「かぼちゃの品評会」が10月22日(火)開催されました。



また、品評会に併せて乳質の表彰も行い、乳質優良農事組合並びに乳質改善農事組合に緑進

が終了しました。入賞者と出品者へは賞金が贈呈され、大盛況となったかぼちゃの品評会が終了しました。

例年、クリーン作戦と併せて開催しており、今年も各農事組合で環境整備をしたのち美原会館へと、参加者が一堂に会しました。開拓の碑の参拝を終えた後、炭火を囲み、焼肉に舌鼓をうちながら日頃の近況などを話す皆さん。

農事組合が選ばれました。なお、かぼちゃの品評会結果は以下の通りでした。

第1位	内山さん	67kg
第2位	高野さん	50kg
"	関矢さん	50kg
第4位	原田さん	49kg
第5位	熊谷さん	48kg



夏期預託下牧作業 実施される

10月17日共和育成センターにおいて、夏期預託牛の下牧作業が行われました。

今年6月3日から夏期預託牛の受入れが始まり、順次放牧地を移動しながら、期間中、授精・妊娠鑑定・肺中駆除を行い、たつぷりと放牧草を摂取しながら成長し、4カ月ぶりに組合員のもとへ戻っていきましました。

また、一部の育成牛は下牧後センター内で舎飼いになり、随時分娩前に組合員のもとへ戻っていきます。





道東8支部より勝ち上がった12チームが 出場

1回戦は浜中ファイターズと対戦し、緊張した雰囲気

第22回NPO法人厚岸ネット杯争奪学童野球大会兼道東8支部交流少年軟式野球大会(以下道東8区)が、8月3日(土)、4日(日)に厚岸町宮園公園野球場真龍中学校グラウンドにて開催され、中標津支部第2ステージを3位で通過した、中春別ジュニアホークスが中標津支部代表として出場しました。

白球にかける選手10人の夏

第22回NPO法人厚岸ネット杯争奪学童野球大会兼道東8支部交流少年軟式野球大会

中春別ジュニアホークス準優勝

気の中、思い切った普段どおりの野球で接戦をものにして7対6で勝利。
2回戦は前年度優勝チームの厚岸・芦野ドラゴンズと対戦し、5対1で勝利し決勝へ進出。決勝戦では愛国イーグルスに力及ばずコールドゲームで敗戦しましたが、準優勝という素晴らしい結果で道東8区大会を終えました。



別海町清掃センター杯 仲間と最高の時を

8月12日から始まりました別海町清掃センター杯、6年生にとって最後の公式戦。道東8区の戦いの勢いをそのままに臨んだ今大会は、長年のライバル「別海中央小」に勝ち、優勝するという目標の中春別ジュニアホークス。

初戦に勝利し、準決勝でライバル「別海中央小」と対戦。「毎回得点を入れるぞ!ピンチの時に声を出す」と指導者の教えを守り、ピンチを乗り越え、強い心で見



事4対3で念願の勝利を手にしました。そして、決勝戦は「野付ベイスターズ」に接戦の末3対2で勝ち、見事優勝しました。

中春別ジュニアホークスは、6年生5人、4年生3人、3年生2人の10人で戦ってきました。道東8区で「10人しかないの?」と言われる程の少人数のチーム。だからこそ仲が良く、強い絆で結ばれた10人でつかんだ優勝でした。

その強さの背景には熱心な指導をされた監督、コーチを始め卒団された先輩たちが指導に協力され、父兄の支え、応援があつての優勝でした。これからも中春別ジュニアホークスの活躍を楽しみにしています。





みんなが主役 笑顔あふれる中春っ子!

中春別小学校
学芸会

10月13日(日)中春別小学校体育館で学芸会が行われました。



令和元年度学芸会のテーマは「令和最初の学芸会 みんなのきずなで感動を伝えよう中春っ子!!」です。
全校合唱では「Adventure」を、強風を伴う台風に負けない元気な声で歌いました。
学芸会は初めての1年生の音楽表現は、始めは緊張していたものの、大きな声であいさつをし、元気に楽しく「パプリカ」を踊る様子に会場全体が笑顔に包まれました。



その後、学年ごとに劇や音楽表現が披露されました。
中でも5・6年生による中春別小学校学芸会の伝統舞踊「YOSAKOI中春別2019」では、息の合った、迫力ある踊りに会場は大盛り上がりでした。
6年生は、「どろかぶら」という劇で、会場を感動に包みました。
テーマのみんなのきずなで感動を伝えるために、練習された成果が発揮された学芸会となりました。



●食彩フェア(帯広)に参加【経営科】

10月5日(土)にイトーヨーカ堂帯広店にて食彩フェアが開催されました。この催しは全道の農業高校で栽培された野菜や、製造された加工品などを各地のイトーヨーカ堂で販売するものです。



販売会の様子

昨年度までは釧路でのフェア開催でしたが、今年度より帯広まで足を運んでの販売実習となっています。当日は多くのお客様にお越し頂き、参加生徒は、商品の解説や鉢花の栽培法の説明を交えながら接客を行いました。今年度は鉢花やゴータチーズ、ストリングチーズやヨーグルトなどの乳製品も販売し、すべての販売品が好評でした。

管外での生産物の提供をとおして、参加生徒からは、「地元のフェアとは雰囲気も違い、良い刺激となった。ぜひ来年も参加して、より良い商品を販売したい」などの感想もあり、多くの農業高校の生徒との連携や、消費者の方々の声を直接お聞きする機会をとおして、多くのことを学ぶことができました。

●搾乳実習を実施【経営科】

10月9日(水)～11月1日(金)まで別海町酪農研修牧場で、今年度の搾乳実習をおこなっています。2年生を対象として、酪農の基本的技術である「搾乳」について、現地実習をとおして正しい技術を学ぶことを目的に行っています。



パーラーでの搾乳

別海町酪農研修牧場の嶋野場長には事前にご来校いただき、研修牧場での生活や搾乳に関するレクチャーを実施していただきました。

酪農経営科2年生全員が2泊の実習を経験し、夜の搾乳器機や泌乳、乳房炎などに関わる学習会と合わせて、搾乳に関する知識と技術を学ぶことができました。地域酪農に貢献する人材の育成を目指して、今後も地域関係機関のご指導をいただきながら、より高い技術の定着を図っていきます。

●【専攻科】乳牛疾病学

9月25日(水)～27日(金)の3日間、「乳牛疾病学」の授業を実施しました。この授業は、乳牛の疾病に関する知識の向上および情報収集を通し、根釧地域で発生している疾病を理解し対策を考える授業です。

【1日目】根室家畜保健衛生所の久保様より、「家畜伝染病予防治法規」「根室管内で見られる主な疾病」についてご講義いただきました。家畜防疫を徹底する意味や家畜伝染病が発生した場合の対処などについて細かく丁寧に指導いただきました。



手術現場見学の様子

【2日目】ひがし北海道農業共済組合 根室南部事業センターの石川様より「農業災害補償制度の概要」について、共済掛金や支払共済金の仕組みについて丁寧に講義いただきました。午後からは根室南部事業センターで実際の手術現場を見学させていただき、手術の内容を詳しく説明をしていただきました。

【3日目】2日目に引き続き石川様より、「乳牛の疾病」「牛の乳房炎」についてご講義いただきました。疾病の発生要因や発生時の症状・対策、災害後の乳房炎を最小限に抑える方法など丁寧に指導いただきました。学生からは、「これからも丁寧に牛を観察して、何事も早期発見に心掛けたい」という感想がありました。

●【専攻科】環境科学

10月1日(火)～3日(木)の3日間「環境科学」の授業を実施しました。2日には地域の生態系を知るという目的で、中春別にある小野沼公園にてフィールドワークを実施しました。



ウチダザリガニ個体調査の様子

調査対象はウチダザリガニでこれは1930年代に摩周湖に食用として放流されたものが徐々に生息域を広げ、在来種であるニホンザリガニを駆逐するまでになったものです。今回の調査では28匹を捕獲し、ふ化後1年以内の個体や、繁殖力の強さも再確認する事ができました。ネイチャークラブの鎌田さんと金子さんのご指導の下、計測・記録をし、よく茹でて試食しました。学生から「身近な公園でも特定外来生物が繁殖していて、自然環境について安易に考えずに、積極的に守る努力をしていきたい」との声が聞かれ、充実した授業になりました。

JAグループ通信

JA北海道中央会



北海道農業協同組合中央会は平成27年の農協法改正により、令和元年9月30日をもって法律上の位置付けを、農業協同組合連合会に移行しました。改正法では、名称は変更しないことが認められ、事業としては会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されており、法律上の位置付けは変わるものの、中央会が果たすべき基本的な機能は変わらないと認識しております。

組織変更に伴い、9月30日に本会役職員に対して飛田会長より訓示を致しました。訓示の内容については、「JA北海道中央会」のYouTubeチャンネルよりご覧いただけます。

今後も引き続き、JAグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートする役割をしっかりと果たして参ります。

JA北海道信連



10月5、6日、アクセスサッポロで開催された、こどものまち「ミニさっぽろ2019」に昨年に続きブース出展しました。「ミニさっぽろ」は、子ども達を対象にした職業体験のイベントであり、JAバンクのブースでは各ブースからの依頼を受けて、給料を用意する仕事を体験してもらいました。

子ども達に仕事の大変さや楽しさ、そして金融の大切さを伝える機会を提供することができました。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取り組んでいます。街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に実施しております。

今年度も札幌地区では9月27日に約50人で共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全を呼びかけました。



ホクレン



GAP(農業生産工程管理)の推進に向け、ホクレンは、農場評価の演習を盛り込んだ実践研修会を8月26～27日に札幌市内の学校法人・八紘学園北海道農業専門学校を会場に開催しました。参加者は道央圏のJA担当者・連合会職員など約10人で、日本生産者GAP協会の田上隆多事務局長を講師とし、農場評価制度の基本学習や会場となった同校農場にて実際の調査を演習しました。参加者の各組織での今後のGAP推進に期待しています。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。10月発行分にはプレゼント付きアンケートもございますので是非応募にもチャレンジしてみてください。



JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



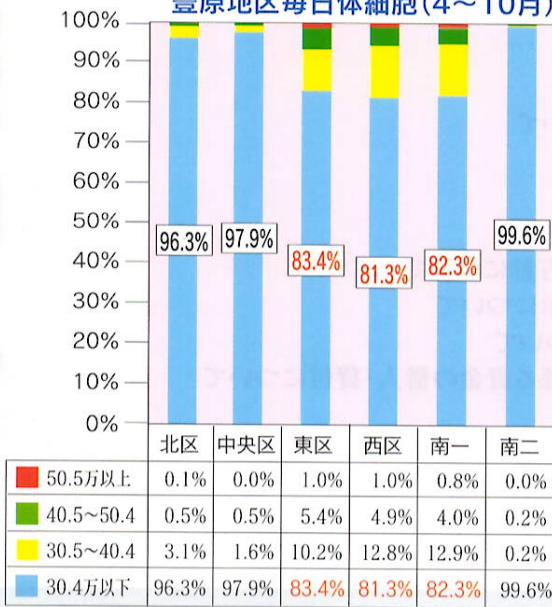
生乳汚染事故を無くそう！

- **抗菌性物質**混入事故……………JA中春別発生件数 **0**件 管内合計では**6**件です。
- 生菌による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入、加水、**血乳**による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では**1**件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故……………JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

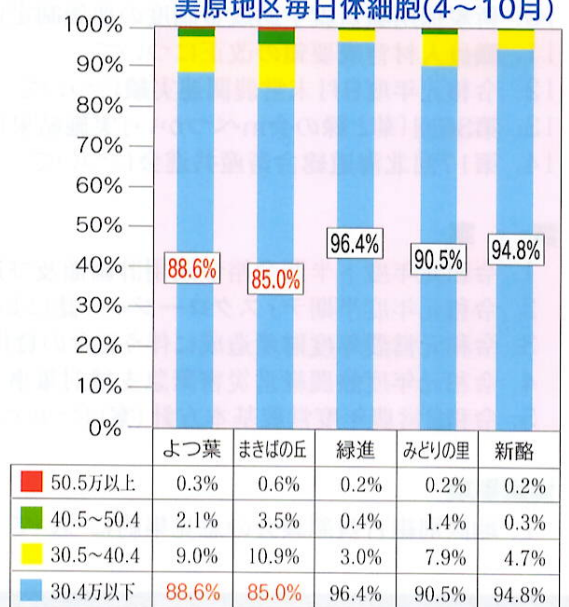
安全安心届けるために日々努力を!!

良質生乳生産推進委員会からの標語

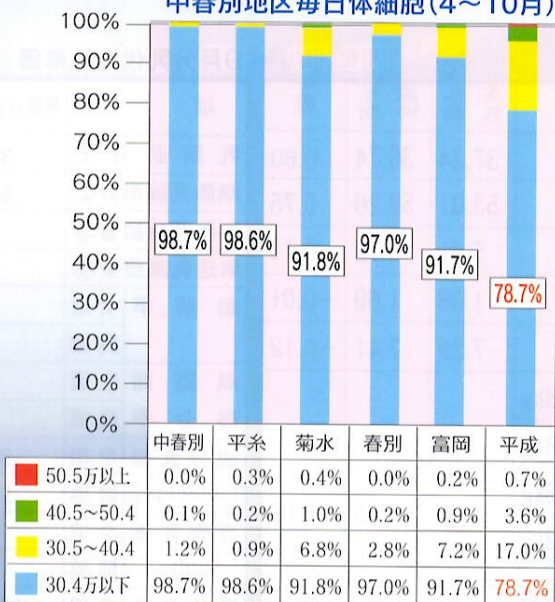
豊原地区毎日々体細胞(4~10月)



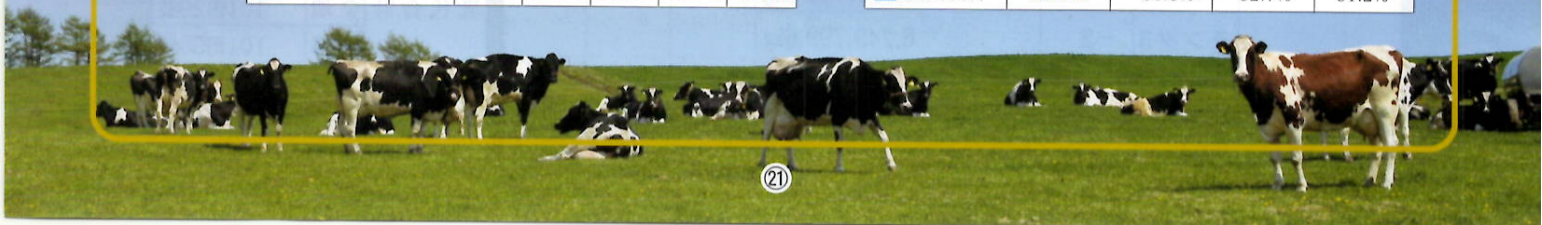
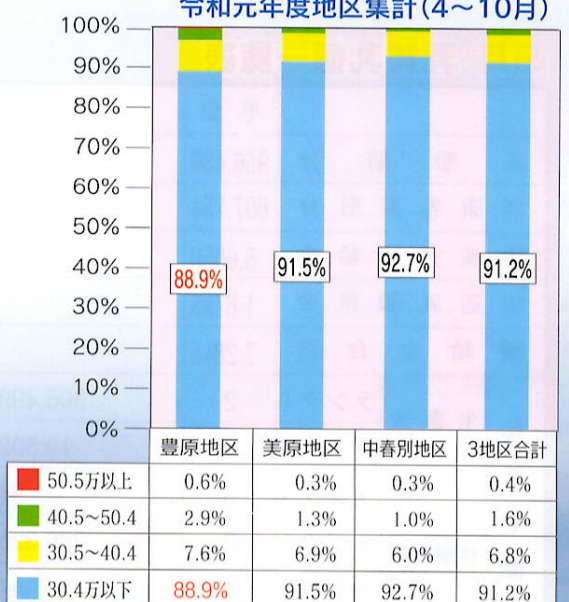
美原地区毎日々体細胞(4~10月)



中春別地区毎日々体細胞(4~10月)



令和元年度地区集計(4~10月)



第9回 理事会の動き

令和元年10月28日(月)

報告事項

1. 令和元年度9月末財務状況について
2. 令和元年度9月末購買事業実績について
3. 令和元年度9月末購買品棚卸結果について
4. 令和元年度9月末基準決算見通しについて
5. 令和元年度上半期経営定期点検報告について
6. 子会社における固定資産取得状況について
7. 令和元年度一日皆貯金の実績について
8. 北海道常例検査の実施について
9. 固定資産の実査について
10. 新規採用職員就学助成金制度の要領制定について
11. 職員人材育成要領の改正について
12. 令和元年度9月末営農関連実績について
13. 第36回「菊と緑の会inべつかい」実施結果について
14. 第17回北海道総合畜産共進会について

議案

1. 令和元年度下半期余裕金運用計画額及び運用方針について
2. 令和元年度半期ディスクロージャー誌による開示について
3. 令和元年度営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
4. 令和元年度酪農経営災害緊急支援対策事業に係る資金の借入・貸付について
5. 令和2年度営農基本方針(案)について

協議事項

1. 地区別組合員懇談会の意見集約について

9月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

9月分乳代支払単価

		単価		支払乳価	前年同期	差	項目	単価(円)/(kg)%	
乳脂肪分		956.436		37.34	36.74	0.60	乳脂肪分①	37円34銭	
無脂乳固形分		607.754		53.01	52.26	0.75	無脂乳固形分②	53円01銭	
生産者補給金		5.6050		5.61	5.72	-0.11	生産者補給金③	5円61銭	
集送乳調整金		1.6795		1.68	1.69	-0.01	集送乳調整金④	1円68銭	
補給金合計		7.2845		7.29	7.41	-0.12	脂肪率	全道 3.90%	
乳質単価	生菌数	ランク1	2	306,499,171.8kg	3.65	3.65	0.00	農協	3.97%
		ランク2	0	10,502,319.8kg				無脂固形分率	全道 8.72%
		ランク3	-3	94,480.8kg				農協	8.64%
	体細胞数	ランク1	2	266,325,951.2kg				成分乳価	全道 97円64銭
		ランク2	1	25,595,453.6kg				①+②+③+④=⑤	農協 97円77銭
		ランク3	-2	6,249,799.6kg				乳質乳価	全道 3円65銭
合計				101.29	100.06	1.23	⑥	農協 3円73銭	
							乳代合計	全道 101円29銭	
							農協	101円50銭	
							⑤+⑥	差異 0円21銭	

INFORMATION

手数料改訂のお知らせ (10月1日より)

●振込為替手数料等

窓口における振込手数料				
	当農協 本所内	系統内 県内宛	系統内 県外宛	系統内 他行宛
1万円未満	無料	110円		440円
1万円以上 5万円未満	無料	220円		550円
5万円以上	無料	440円		770円
定時自動送金における払込手数料				
1万円未満	無料	110円		440円
1万円以上 5万円未満	無料	220円		550円
5万円以上	無料	440円		770円
ATMにおける振込手数料				
1万円未満	無料	110円		220円
1万円以上5万円未満	無料	110円		220円
5万円以上	無料	220円		440円

金融機関名	JAバンク	ローソンATM	イーネットATM	セブン銀行	ゆうちょ銀行
主な設置点	全国JA バンク	ローソン	セイコー マート等	セブン イレブン	郵便局等
お取引内容	入出金	入出金	入出金	入出金	入出金
平日 8:45~18:00	無料	無料	無料	無料	無料
平日 9:00~12:00	無料	無料	無料	無料	無料
その他時間 及び日程	無料	110円	110円	110円	110円

金融機関名	JFマリンバンク	三菱東京UFJ銀行
主な設置点	全国漁協	店舗内
お取引内容	出金	出金
平日 8:45~18:00	無料	無料
平日 9:00~12:00	無料	110円
その他時間 及び日程	110円	110円

●お問い合わせは

JA中春別金融共済課
TEL(0153)76-2314

手数料の種類	内容	手数料
キャッシュカード再発行手数料	1枚あたり	1,100円
通帳再発行手数料	1通あたり	200円
残高証明書発行手数料	1通あたり	200円

皆様のご協力ありがとうございました 一日皆貯金66,521,964円 を達成しました

一日皆貯金を10月2日(水)に実施し、職員12班体制で組合員宅を訪問いたしました。硬貨を中心に貯金していただき、1,000枚以上の硬貨を預けられた方も多数おりました。3日(木)は中春別市街と会社を訪問し、2日間で66,521,964円の貯金実績となりました。ご協力をいただきました。



一日皆貯金お楽しみ抽選

一日皆貯金のご協力に感謝を込めて、北海道産ゆめぴりか5キロ分が当たる抽選を行いました。

抽選の結果、15の方が当選されました、おめでとうございます。



組合員の広場



作品名「葉月の実」高田満枝さん



作品名「桜並木」高田満枝さん

今月号の組合員の広場は「和紙絵香彩会」の作品を掲載いたしました。
組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。
営農振興課・原内までお気軽にご連絡ください。